

講師：伊藤利明氏
(熊本高専熊本キャンパス共通教育科教授)

演題：「ケルト神話」と現代の若者文化のつながり

年間テーマ

『ヨーロッパのふるさと：ケルト（アイルランド）の心』

ヨーロッパはケルトに始まる。そしてケルトの心はアイルランドによく伝わっている。ケルト民族は古代ローマ以前から現在のスイスやオーストリアを中心にヨーロッパに広く住んでいた。彼らは部族を大切に守ったが、ひとつの「国家」を樹立することはなかった。それゆえ、やがてローマやゲルマンの大きな国家組織が現れたとき、次第に周縁部に追いやられ、時に滅びを余儀なくされた。彼らの誇り高い民族の心は音楽や詩やダンスによって今日まで伝承されている。彼らケルト（アイルランド）の人々の心にしばし耳を傾けてみよう。聞こえてくる彼らの心の鼓動は時を超えて私たち日本人の心にも響き合う。それは他ならぬ記憶と夢幻の世界を大切にした熊本ゆかりのラフカディオ・ハーン的心にも通じている。この市民講座はケルトの心と日本人の心との快い共鳴の場です。どうぞ来て楽しんでいただければ幸いです。

期日：平成 30 年 10 月 27 日（土）14:00～15:30

会場：お菓子の香梅帯山店ドウ・アート・スペース

熊本市中央区帯山 7-6-84（国体道路沿い）

参加費：無料（帯山店のみお菓子と飲み物付き 200円）

ケルト人やケルト文化については、考古学や遺伝子学をはじめ近年の研究の成果を踏まえて、各分野で通説の見直しが進められています。今のところ教科書ではその反映は見られません。「幻の民ケルト人」といわれるだけあってケルトについては未解明な部分が多く、高等学校レベルでは深くは触れません。にもかかわらず現在の日本の若者は、ケルト神話についての知識をもっています。彼らが主に知識を得ているケルト神話をモチーフにしたライトノベルやゲーム、アニメなどを紹介しながら、学校教育ではほとんど触れない「ケルト神話」と現代の日本の若者の接点についてお話ししたいと思います。

伊藤利明